

元気グループ紹介シリーズ ～ 認知症カフェ ～

最近よく聞く認知症カフェ。名古屋市内には現在276か所の認知症カフェがあり、全国有数の多さです。それぞれ特徴のあるユニークな活動が展開されています。

一体認知症カフェにはどのような方が集まって、どのようなことをして過ごしているのでしょうか？こんな疑問を胸に取材メンバーが支所管内の認知症カフェを順に訪問し、参加者や職員さんの思いをレポートします。



第51号では3か所の認知症カフェを紹介していくよ！

「認知症カフェで一番大切にしていること」を教えてもらったよ！☆



とくしげカフェ

『回想法の中で思い出と笑顔を引き出すこと、
ありのままを受け入れること』

とくしげカフェは黒沢台にあるボンセジュール徳重（介護付き有料老人ホーム）の中にあります。

当日は『自転車の思い出』というテーマで、一人ずつ順番に思い出を語っていきましました。進行役の機能訓練指導員の松浦さんが「パンクをしたときはどうしたか」、「通学や通勤に使っていたか」などを話した後に、参加者の皆さんも積極的に発言していきましました。話すのをためらう人には、丁寧に話を引き出し、上手に話をふくらませていました。松浦さんが上手に話をまとめていたので、話を聞いている人にもよく伝わり、話す人たちも満足そうでした。私どもも皆さんのお話を聞いて、楽しく過ごしました。

今回の参加者は14名ほどで皆さんがホームの住人でした。地域の方にも気軽に参加してほしいと言っていました。

開催日時：毎月第2木曜日14：30～15：30
場所：ボンセジュール徳重
参加費：無料 ※要予約

7月9日のトークテーマ

7月9日(木) 14:30～
あの話この話
【自転車の思い出】



取材日：7月9日

認知症カフェ・神の倉

『認知症があっても、なくても、
今この時間を一緒に楽しみたい』



アコーディオンとギターに歌を手話で

認知症カフェ・神の倉は、安田さんと傾聴ボランティアの仲間が主体となって運営されています。訪問した日の参加者は、私たち含めて25名ほどでした。

はじめに脳トレ体操で体をほぐし、次にアコーディオンの伴奏で昭和の童謡や演歌などを歌いました。その歌に関係する社会の動きや事件を振り返り、当時の思い出が鮮やかによみがえり楽しいおしゃべりが止まりません。元気に大きな声で歌うことで生まれる一体感が魅力です。

取材日：7月10日

開催日時：毎月第2金曜日13：30～15：30
場所：神の倉コミュニティセンター
参加費：200円 ※予約不要

そんぽカフェ

『ほっと安心、笑顔の輪』

そんぽカフェはそんぽの家 神沢（介護付き有料老人ホーム）の中にあり、甘いものを食べながら、入居されている方同士で話し合い、ほっとしてもらう時間を設けています。

ホームでは、SOMPO 流 子ども食堂や秋のお祭りなどを開催しており、近隣の方も参加しています。また、神沢中学校とも交流があり、地域とのつながりを深めることを大切にしているとのことでした。ホーム内では認知症の方に対して、自分たちでできることをできるだけ長く続けられるような自立支援の取り組みを行っています。

認知症の方とのお付き合いのコツは、①否定しないこと、②最後まで話を聞くこと、③その方の世界観に寄り添うこと、とホーム長の岡本さんから聞きし、とても参考になりました。

取材日：7月16日

開催日時：毎月第3木曜日14：00～16：00
場所：そんぽの家 神沢
参加費：300円 ※要予約

寄贈された神沢中学校の生徒の作品

カフェのお茶とアイス
を楽しむ様子



緑区内の認知症カフェの最新情報については、下記へお問合せください。

名古屋市緑区北部いきいき支援センター 住所：緑区鳴子町1丁目7番1 緑区在宅サービスセンター内
電話：052-899-2002

詳細はこちら▶

